

M R C P (M R 胆管膵管撮影)

M R C P (magnetic resonance cholangiopancreatography、エムアールシーピーと呼びます) は、T2 強調像にて、非常に長い T2 値を持つ胆汁・膵液を特に強調して高信号に描出する管腔撮影法で、**造影剤を使用せず**に膵胆管像が得られる画期的な検査方法です。

利点	欠点
<ul style="list-style-type: none"> * 非侵襲的 (造影剤不要) * 炎症の急性期や術後にも撮影可能 * 閉塞性病変でも、閉塞部の中枢、末梢側どちらの管腔情報も得られる * 多方向、様々な厚さの画像情報が得られる 	<ul style="list-style-type: none"> * 空間分解能、時間分解能に限界がある * 腹水合併例などでは、明瞭な画像がえられない * 磁性体による検査への影響など、MRI 特有の制限がある

~~~~~こんな画像が得られます~~~~~



### < 所見 >

- A : 胆嚢内結石が淡い陰性像として観察される。
- B : 総胆管内結石が複数の陰性像として観察される。

### M R C P 撮像方法の例

#### < single-shot FSE 法 >

胆道、膵管を含む、30~70mm 前後の1枚の厚いスライスを、数秒間の息止め下で撮影します。通常、いくつかの角度での撮影となります。

#### < 2Dmulti-sliceFSE 法 >

複数の薄いスライス(3-5mm)で 40~60mm 前後の厚さを、比較的長い息止め下(20秒前後)で撮影します。データ自体は、個々のスライス毎に得られますので(元画像)これを再構成し(MIP処理)single-shot FSE法と同様、平面上の投影像を得ます。

通常元画像は、細い管の走行の確認や胆嚢内部構造の観察に有用です。

### Q & A : 検査オーダーの方法は?

「MRCP 撮影」とご指定頂けば、  
< single-shot FSE 法 > による撮影と、  
< 2Dmulti-sliceFSE 法 > の元画像(抜粋)投影像(MIP処理画像)をプリントします。

検査所用時間は?



| 撮影方法                    | 時間   |
|-------------------------|------|
| M R C P のみ              | 20 分 |
| M R C P + 腹部横断MRI 像(単純) | 40 分 |
| M R C P + 腹部横断MRI 像(造影) | 60 分 |